

令和8年度 第6回 市長定例記者会見

定例会見

日時：令和8年8月28日（金） 11：30～

会見内容

1. 発表事項

(1) 9.12豪雨災害50年継承事業について

危機管理部(水防対策課)

(2) 史跡岐阜城跡発掘調査の開始及び信長学フォーラムの開催について

ぎふ魅力づくり推進部(文化財保護課)

(3) 歴史博物館ロゴマークの決定及び観覧券の前売り開始について

ぎふ魅力づくり推進部(歴史博物館)



9.12豪雨災害 50年継承事業



9.12豪雨災害 50年継承事業

9.12豪雨災害(1976年)

台風17号の接近に伴う集中豪雨により長良川や支川である伊自良川の堤防が破堤し、安八町や岐阜市を中心に甚大な被害が発生

被害状況

	岐阜市	岐阜県
死者	5人	8人
負傷者	7人	22人
床上・床下浸水	41,442戸	75,485戸



岐阜市北部



長良橋付近



水防活動

豪雨災害の教訓を学び、次世代へ継承する取り組み

(1)「9.12豪雨災害」の写真募集



被害の状況や人々を守るために行われた活動を振り返り、次世代へ継承するため「9.12豪雨災害」の写真を募集

- ▶対象写真 浸水や避難の様子、災害後のまちなみ、地域住民による助け合いの様子など
- ▶募集期間 9月1日(火)～9月18日(金)
- ▶提出 水防対策課窓口まで、または水防対策課HPの専用受付フォームから
※お持ちいただいた大切な写真は、スキャンした後に返却



岐阜県防災課所蔵

豪雨災害の教訓を学び、次世代へ継承する取り組み

(2)市庁舎ライトアップ



50年の節目を機に、亡くなった方への追悼と、災害の教訓を再認識

- ▶期間 9月9日(水)～13日(日) 5日間
- ▶時間 19時から21時まで
- ▶配色 青色 (追悼と水災害のない静寂な日)

豪雨災害の教訓を学び、次世代へ継承する取り組み

(3) 長良川9.12豪雨災害50年シンポジウム



水害に備える水防団
(長良・大宮陸開操作訓練)



Remember9.12豪雨災害宣言
(令和8年度岐阜市水防連合演習)



水防団員による子どもたちへの
水防災学習

- ▶日 時 9月12日(土) 13時30分～16時00分
- ▶会 場 じゅうろくプラザ2Fホール
- ▶内 容 当時の体験談、基調講演、防災教育の取組紹介、
パネルディスカッション

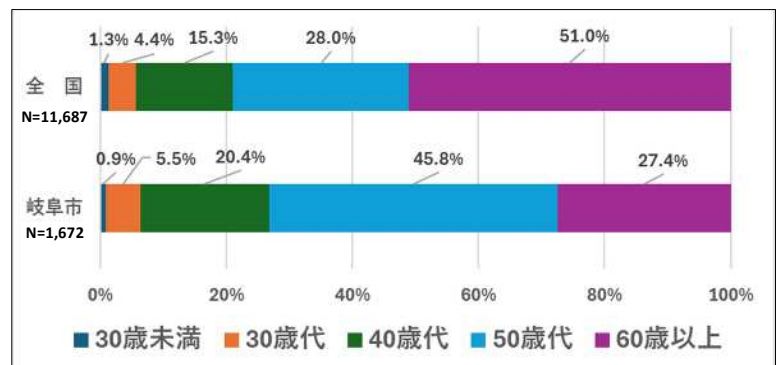
持続可能な水防団活動に向けた団員募集の取り組み

(1) 課題

■ 水防団の人数等

岐阜市	R2年度	R5年度	R7年度
人数	1,593人	1,689人	1,672人
定員	1,624人	1,764人	1,764人
充足率	98.1%	95.7%	94.8%
平均年齢	50.0歳	51.9歳	52.5歳
全国専任水防団	R2年度	R5年度	R7年度
充足率	74.3%	72.4%	70.5%

■ 団員の年齢別構成比 (R7.4.1)



持続可能な水防団活動に向けた団員募集の取り組み

(2)これまでの取り組み

<情報発信強化>

- ・水防団募集リーフレットの配布
- ・SNS、広報ぎふによる水防団活動の情報発信
- ・女性活躍をアピール

<環境整備>

- ・水防団員詰所の新築・改築時における、水洗洋式トイレ、エアコンなどの設置
- ・DXにより安全に水位監視ができるモバイルカメラ、迅速な情報共有が図れるタブレットの配布

■水防団募集リーフレット



■改築事例



■モバイルカメラ設置事例



持続可能な水防団活動に向けた団員募集の新たな取り組み

(3)新たな取り組み ①水防団員募集PR動画作成

3分バージョン

- ▶ YouTube、SNS、市ホームページ
- ▶ 庁舎内サイネージ (1～3階の窓口前、2階多目的広場前)

15秒バージョン

○路線バス車内のバスチャンネルで放映

- ▶ 対象車両 100台
- ▶ 期間 9月1日(火)～来年3月31日(水)
- ▶ 放映頻度: 約20分に1回



持続可能な水防団活動に向けた団員募集の取り組み

(3) 新たな取り組み ②バス車内広告ジャック



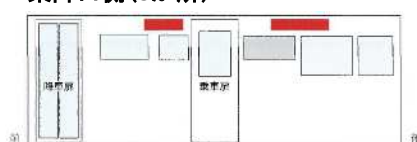
- ▶掲出期間 9月1日(火)～30日(水) 30日間
- ▶対象車両 2台
- ▶掲出場所 12か所/1台 B3サイズ

■掲出場所

運転席側(7か所)



乗降口側(5か所)



■イメージ



ぎふ防災マルシェ2026



- ▶日時 10月3日(土)～4日(日)

- ▶会場 マーサ21

▶主な内容

- ・元水防団員による9.12豪雨災害講話
- ・未来の防災リーダー 成果発表&研究作品展示
- ・企業ブース展示
- ・ステージイベント など



昨年度の様子

1-(2) 史跡岐阜城跡発掘調査の開始及び信長学フォーラムの開催について

1 令和8年度史跡岐阜城跡発掘調査の開始について

- ・岐阜市では、令和3年度に策定した『史跡岐阜城跡整備基本計画』に基づき、その重点事業の一つとして金華山山上部の発掘調査を実施。
- ・昨年度（令和7年度）の調査では、「天守西側」において「稲葉城趾之図」に描かれている3段目の石垣を確認するとともに、隣接する平坦地で建物の礎石を発見。
- ・一ノ門北側では、^{たてぼり}堅堀が通路まで伸びていたことを確認。

令和8年度史跡岐阜城跡発掘調査の開始

・『史跡岐阜城跡整備基本計画』の重点事業

「山上部の発掘調査の推進」「山上部の城郭景観復元」「山麓居館庭園整備」

・令和7年度の主な発掘調査成果

- ・「天守西側」で『稲葉城趾之図』に描かれている3段目の石垣を確認
隣接する平坦地で建物の礎石を発見
- ・「一ノ門北側」の斜面下方にある^{たてぼり}堅堀が通路まで伸びていたことを確認



⇒道三公や信長公の城の姿をアップデートする発見

(1) 令和8年度の発掘調査箇所

- ・^{かみだいどころ}上台所と天守南通路の2ヶ所で発掘調査を実施。（計46㎡）

調査箇所1 上台所の調査（約26㎡）

- ・1ヶ所目は「稲葉城趾之図」を始めとする絵図に、「台所」「上台所」と描かれている大きな平坦地。
- ・令和6年度には、道三公時代の^{きよせきいしがき}巨石石垣が見つかり、周辺では建物の屋根を飾った^{かざりかわら}飾瓦が出土。
- ・「稲葉城趾之図」には、^{しもだいどころ}上台所東側に、「下台所」から上がる階段状の通路が描かれている。

令和8年度 発掘調査箇所

①上台所



調査箇所2 天守南通路の調査 (約20m²)

・2ヶ所目：天守南通路

もともと谷であった地形を、

信長公時代に、両側に2段の石垣を築いて、その上部を通路とした場所。

- ・令和5年度の調査では、西側斜面で大量の「円礫」や「かわらけ」などが出土し、この通路上に庭園や眺望を楽しみながら宴会をする饗応の施設があった可能性が出てきている。



(2) 調査概要

【調査期間】

令和8年8月28日（金曜）から11月下旬までの予定。

【作業時間】

平日の9時30分から15時30分まで

※土・日・祝日休み、雨天中止

- ・調査箇所は通路沿いや上台所休憩所から見学が可能。
- ・岐阜公園・華松軒隣の発掘調査案内所で、当日の調査予定を案内。
- ・調査の様子については、
「岐阜城跡発掘調査」及び「岐阜市魅力部」のXでも、随時紹介。

発掘調査期間

本日
令和8年8月28日（金）～11月下旬（予定）

平日9時30分～15時30分 登山道沿いや上台所休憩所から見学可能
※土・日・祝日休み、雨天中止

- ・当日の調査予定は岐阜公園内
華松軒隣の**発掘調査案内所**で案内
- ・調査の様子はX（旧Twitter）の
「**岐阜城跡発掘調査**」
「**岐阜市魅力部**」で随時紹介

➡ 調査成果は後日改めてご案内



2 第20回信長学フォーラムの開催について

(1) 信長学フォーラムについて

- ・ 信長学フォーラムは、
岐阜市と織田信長公のつながりについて考える歴史シンポジウム
- ・ 平成20年度（2008）に第1回を開催、今回で20回目
※平成28年度は年に2回開催
- ・ 信長公研究や城郭研究の最新成果、
おもてなしや地域活性化など現代的な視点も取り入れ
信長公のまち・岐阜を全国に広くアピール
- ・ 第13回（2019（令和元）年度）では、斎藤道三公にスポットを当てた
「道三学フォーラム」も開催
- ・ 織田信長研究の第一人者である^{わきたおさむ}脇田修氏（大阪大学名誉教授、H30年ご逝去）や、
^{むらたしゅうぞう}中世城郭史研究の村田修三氏（大阪大学名誉教授）をはじめとする
第一線の研究者を招き、講演や対談などを実施

※第1回～第19回参加者累計 延べ8,041人

第20回信長学フォーラムの開催

第1回 信長公と岐阜

第1回 信長学フォーラム ― 信長公の虚像と実像 ―

岐阜市制125周年記念イベント

平成20年
11月15日(土)
じゅうろくプラザ ホール

特別講演
『龍の巻録』ノート
～「その時歴史が動いた」の現場から～
松平 定知氏
(早稲田大学・立教大学大学院 客員教授)

開 場：午後1時
開 演：午後1時30分～午後4時30分
定 員：600名

基調講演：『龍の巻録』
～「その時歴史が動いた」の現場から～
松平 定知氏
(早稲田大学・立教大学大学院 客員教授)

対 談：松平 定知氏
対 象：松平 定知氏
対 象：松平 定知氏

主 催：岐阜市

道三学フォーラム ― 道三のまちと城 ―

令和元年
11月23日(土・祝)
じゅうろくプラザホール 定員600名
午後1時～4時30分 (開場午後0時30分)

入場無料
(事前申込必須)

※基調講演
『道三の戦国史』
～道三時代を中心に～
小和田 隆男氏 (大阪大学名誉教授)

※特別対談
『道三の戦国史』
～戦国時代の戦国ととらえ～
宮田 孝賢氏 (NHK Eテレ 解説者 歴史学 博士 松本 史郎 氏 監修)

※パネルディスカッション
『道三のまちと城をめぐって』
山崎 隆雄氏 (岐阜大学名誉教授)
水戸 隆也氏 (岐阜大学名誉教授)
三宅 隆雄氏 (岐阜大学名誉教授)
内藤 隆雄氏 (岐阜大学名誉教授)

主 催：岐阜市

第13回 道三学フォーラム
― 道三のまちと城 ―

(2) 今年度の信長学フォーラム

- ・ 今年は、20 回の節目であるとともに、**岐阜城跡の国史跡指定 15 周年**。
※史跡岐阜城跡 国史跡指定：平成 23 年（2011）2 月 7 日
- ・ 定員を従来の 600 人から 1,500 人に、**規模を拡大して開催**

テーマ：「世界の岐阜城、未来の岐阜城」、

開催日：11月21日（土曜）

会場：長良川国際会議場メインホール「さらさ〜ら」

※内容についてはチラシをご参照ください。

参考）リュート：15～16 世紀（ルネサンス期）にヨーロッパで
親しまれた洋梨形の撥弦楽器
ヴィオラ・ダ・ガンバ：
16～18 世紀にヨーロッパで親しまれた脚に
挟んで弾く擦弦楽器

(3) 募集

- ・ **入場無料、先着順**
- ・ **9 月 8 日（火曜）からオンラインで受付を開始**
- ・ 定員は **1, 500 名**（定員に達し次第、受付締切）

第20回 世界の岐阜城、未来の岐阜城



第20回 信長学フォーラム
—世界の岐阜城、未来の岐阜城—

令和8年 11月21日(土) 長良川国際会議場
メインホール「さらさ〜ら」

※会場は「長良川国際会議場」です。例年の会場とは異なりますのでご注意ください。

※開場：午後1時～4時30分(開場:正午) ※入場無料 ※申込先着順

※定員 1,500名(事前申込必要)

①基調講演 織田信長と世界 小和田 哲男氏
②基調講演 世界のなかの岐阜城 中井 均氏
③特別上演 信長公も聴いた西洋音楽 中川 雅治氏
④パネディスカッション 世界の岐阜城、未来の岐阜城 パネリスト 小和田 哲男氏 中井 均氏 薬橋 正直氏
コーディネーター クリス・グリーン氏 (近畿大学客員教授)

入場無料・先着順

お申し込み
9月8日（火）から
オンラインで受付開始

定員 1, 500 名
※定員に達し次第、受付締切

1-(3) 歴史博物館ロゴマークの決定及び観覧券の前売り開始について

1 ロゴマークの決定について

歴史博物館では、

リニューアルを契機にさらなる知名度向上、ブランド力強化を図るため、
公募により新たな博物館のシンボルとなるロゴマークを作成

公募期間：4月1日（水）～5月31日（日）

応募点数：712点

⇒審査委員による1次審査により、入選作品10点を選考

入選作品を対象として最終決定に向け市民投票を実施

投票期間 7月2日（木）～31日（金）

投票方法 オンライン及び投票用紙による

投票総数 3,107件

⇒市民投票の結果を踏まえ、ロゴマークを決定

受賞者（敬称略）

・最優秀賞（ロゴとして採用）

賞金10万円

田矢 夏実（東京都）

・優秀賞

賞金2万円

笠井 隆行（愛知県）

・特別賞

賞金1万円

安田 恵利子（岐阜市）



採用作品

・作者：田矢 夏実さん（東京都）

・得票数：419票

・コンセプト

金華山と山頂にある岐阜城、清流長良川をイメージした3つの要素を組み合わせ、
全体で岐阜市全体の姿を表現

・3つのモチーフは、新たな総合展示室のコンセプトである、

「あっ、これ好き！“ぎふ^{がく}楽”」に掲げる、～ぎふの魅力に「気づく」、ぎふの歴史を「深める」、ぎふを「楽しむ」、の3つの要素も表現。

・投票者の意見

・ぱっと見て岐阜市だとわかるシンボルが組み合わさっている

・金華山や岐阜城があらわれており、岐阜市の歴史を学べる施設のロゴとして最適

・自然豊かな岐阜市にぴったり



- ・ロゴマークを活用したオリジナルグッズなども作成予定

2 観覧券の前売り開始について

(1) リニューアルオープン

日時 11月3日(火・祝) 無料エリア開場：10:00～
総合展示室開場：11:30～

(2) 常設展観覧券

前売券販売期間：9月1日(火) 午前10時～11月2日(月)

販売場所：歴史博物館のホームページ

	常設展観覧券		常設展・分館 (加藤栄三・東一記念美術館) 共通	
	前売券	当日券	前売券	当日券
一般(高校生以上)	370円	460円	530円	660円
小学生・中学生	140円	230円	200円	330円

- ・オープン当初は混雑が予想されることから、時間帯指定のチケット(30分ごと)もあわせて販売する。

歴史博物館常設展の前売り開始



9月1日(火) 10:00～
歴史博物館 ホームページで
前売り開始

- 常設展観覧券
 - 一般(高校生以上)
当日 460円⇒前売 370円
 - 小・中学生
当日 230円⇒前売 140円
- 常設展・分館共通観覧券
 - 一般(高校生以上)
当日 660円⇒前売 530円
 - 小・中学生
当日 330円⇒前売 200円
- 時間帯指定のチケットもご用意

(3) 特別展「動き出す浮世絵展 GIFU」

主催：動き出す浮世絵展 GIFU 実行委員会

(岐阜市、岐阜新聞社 岐阜放送、一旗、テレビ愛知)

概要：葛飾北斎、歌川広重などの作品が 3DCG アニメーションやプロジェクションマッピングなどの最新技術によって躍動する、浮世絵の世界に没入できる展覧会

・鵜飼や織田信長公など、岐阜市ならではの題材を取り上げた、初公開となるオリジナル映像も展示。

・映像に使用された歌川広重や歌川国芳らの実物作品もあわせて展示。

会期：11月6日（金）～11月11日（月・祝）

前売券販売期間：9月1日（火）午前10時～11月5日（木）

販売場所：歴史博物館のホームページ、チケットぴあ、アソビュー、ローソンチケット、イープラス、楽天トラベル、Boo-Woo^{ブーウー}チケット、EX 旅先予約、各種コンビニエンスストア

	前売券	当日券
一般（高校生以上）	1,300円	1,500円
小学生・中学生	500円	700円

・特別展のチケットで、リニューアルした総合展示室も観覧可能。

「動き出す浮世絵展 GIFU」 前売券の販売開始



9月1日（火）10:00～
前売り開始
 ・歴史博物館ホームページ
 ・各種
 オンラインチケット購入サイト

特別展観覧券
一般（高校生以上）
 当日 1,500円⇒前売 1,300円
小・中学生
 当日 700円⇒前売 500円

3 各種イベント

- 11月 3日（火・祝）岐阜まつりのからくり人形実演
- 11月14日（土） 岐阜市消防音楽隊によるコンサート
- 11月22日（日） 記念講演会

「戦国時代の岐阜城・武家屋敷の実像を考える
～最新の発掘調査成果と建築史から～」

オープン関連イベント

◆オープン当日限定イベント

「岐阜まつり からくり人形実演」

日時：2026年11月3日（火・祝）

① 10:05～10:25 安宅車

② 13:30～13:50 若戎車

③ 15:00～15:20 清影車

会場：歴史博物館 1階エントランスホール

◆「岐阜市消防音楽隊コンサート」

日時：2026年11月14日（土）

① 10:00～10:30（玄関前）

② 10:45～11:15（講堂）

③ 11:30～12:00（講堂）

会場：岐阜市歴史博物館 玄関前・講堂

◆リニューアルオープン記念講演会

「戦国時代の岐阜城・武家屋敷の実像を考える
～最新の発掘調査成果と建築史から～」

日時：2026年11月22日（日） 13:30～16:00

会場：岐阜市歴史博物館 講堂

講師：溝口正人氏（愛知淑徳大学教授） ほか